



協力してグラブ作り  
に取り組む親子＝養  
老町高田、ミズノテ  
クニクス

# 親子が協力グラブ作り

## 養老町のミズノテクニクスで体験教室

### 名和さんのバット作りも見学

夏休み中の子どもたちが野球のグラブ作りを楽しむ親子体験教室が2日、養老町高田のミズノテクニクスで開かれ、西濃地域を中心に小学生の親子ら27組61人が参加した。(杉原康仁)

地元の企業を知り、親子の絆を深めてもらおうと大垣西濃信用金庫が毎年開き、今年で4回目。

子どもたちは親と協力して小さな穴に革ひもを通し、グラブ本体にボールをキャッチする網の部分を取り付けていった。

この日は米大リーグで活躍するイチロー選手のバットを手掛ける名和民夫さん(51)の作業も間近で見学。子どもたちは削りたてのバットを触ったほか、じゃんけんで勝った児童にはイチロー選手と同形状、同重量のバットがプレゼントされ、楽しい時間を過ごした。

父親と参加した本巣市の一色小学校5年飯尾春樹君(10)は「ひもを結ぶのが難しかったが、楽しかった。少年団で野球をやっているので早く作ったグラブを使いたい」と笑顔を見せた。